

温暖化と海洋熱波により暖まる海洋：厚岸町沿岸の水産資源に与える影響

金森由妃¹，石田拳²，小倉直浩¹，仲川春佳¹，藤倉永怜¹

¹ 岩手大学人文社会科学部

² JAMSTEC

【研究の背景と目的】

気候変動により，厚岸の海洋環境は大きく変化している。例えば海水温では，温暖化だけでなく海洋熱波（海水温が顕著に高い状態が数日続く現象）や海洋寒波（海水温が顕著に低い状態が数日続く現象）も発生していることが知られている（気象庁）。しかし，これらの海洋環境が，厚岸の水産資源にどのような影響を与えているのかは分かっていない。

そこで本研究では，第1種共同漁業で利用されている海藻（クロバギンナンソウとフクロフノリ）を対象にして，①クロバギンナンソウとフクロフノリの資源状況は？，②それらの資源状況に与える海洋環境は何か？，を明らかにした。

【研究の結果】

解析の結果，クロバギンナンソウとフクロフノリはどちらも，直近5年間の資源量は増加傾向で，かつ資源の水準（多いか少ないか）は高位であることが明らかとなった。

クロバギンナンソウでは，海洋の温暖化が資源を減らす要因となっただけでなく，海洋寒波も重要な要因であることが分かった。フクロフノリでは，近年は海洋の温暖化よりも海洋熱波と海洋寒波が資源量に重要な要因であることが分かった。

【まとめ】

海洋の温暖化，海洋熱波と海洋寒波は，厚岸の沿岸資源に影響を与えていることが分かった。今後は，気候変動下において海洋環境が資源に影響していることを前提とした資源評価・管理を行い，気候変動下でも持続的に利活用できる資源を科学的に見極めていく視点が必要であると考えられる。